

枚方市総合文化芸術センターの指定候補者の選定について

文化生涯学習課

1. 政策等の背景・目的及び効果

枚方市総合文化芸術センターにつきましては、令和3年(2021年)4月1日から指定管理者制度を導入しています。

今後も利用者サービスの向上や更に効率的・効果的な施設の管理運営を図るため、指定管理者の指定期間の満了に伴い、次期指定候補者の選定を行ったものです。

2. 内容

(1) 施設

名 称	枚方市総合文化芸術センター
所 在 地	【本館】枚方市新町2丁目1番60号 【別館】枚方市新町2丁目1番5号

(2) 指定候補者となる団体

団体名称等 アートシティひらかた共同事業体

(代表団体)

東京都江東区豊洲三丁目2番24号 豊洲フォレシア 16階

サントリーパブリシティサービス株式会社

代表取締役 千 大輔

(構成団体)

大阪府枚方市西禁野一丁目3番35号

京阪ビルテクノサービス株式会社

代表取締役 内田 茂信

(構成団体)

大阪府大阪市東成区深江北一丁目10番25号

株式会社大阪共立

代表取締役 黒木 郁夫

(3) 指定管理期間

令和7年(2025年)4月1日から令和12年(2030年)3月31日までの5年間

(4) 選定の概況

枚方市総合文化芸術センターの指定候補者を選定するため、「枚方市総合文化芸術センター指定管理者選定委員会」に諮問しました。

募集要項等について、同選定委員会の意見を踏まえた上で、内容を確定し、令和6年(2024年)5月16日から6月14日までの間、公募を行いました。申請団体は1団体でした。

【申請団体】

- ① アートシティひらかた共同事業体

【選定委員会での審査概要】

同選定委員会で、申請団体から提出された事業計画書が募集要項に掲げた条件を満たしているかについて審査が行われ、要求事項を満たしていることが確認されました。

その後、事業計画書に記載されている各提案内容について、申請団体のプレゼンテーションを実施し、提案内容等に対する申請団体への質疑を行った後、選定基準の要求事項の項目ごとに評価を行い、指定管理料の額と合わせて総合評価を行いました。

(評価方法)

評価については、事業計画に関する内容審査と指定管理料の額をそれぞれ点数化し、それらを合算する総合評価方式で行いました。内容審査は80点満点、指定管理料の額は20点満点とし、これらの合計100点満点で評価を行いました。

(選定委員会での主な意見と結果)

共同事業体を構成する3社は、他施設での豊富な実績・経験を有し、信頼性の高い、優れた専門家集団を形成しており、財務状況からも堅実で安定した経営が見てとれる。申請団体は現行の指定管理期間（第1期）でも本施設の指定管理を行っているが、民間事業者が指定管理を行う基礎自治体が設置している大型文化施設の中では、本施設は公演（事業）の質と多様性は全国的に見てトップレベルの評価を得ている。

本提案における事業企画については、幅広い顧客層を対象にできる出演者等の選定や枚方の市場に適合した入場料価格の設定を行うなど、顧客の拡大に貢献できる提案をはじめ、次世代を担う若者たちの育成に関する企画や市内の活動団体とともにお互いの展開につながる事業も計画されている。また、指定管理期間の5年の提案にとどまらず、文化芸術について将来的な育成サイクルを構築し、枚方で永続的に発展継承されていく土台づくりを目指している点も評価できる。

施設管理については、本施設においてすでに約4年間の管理運営実績があることから、施設の特徴等を熟知し、知識・経験を積み上げており一定の信頼性が認められる。危機管理の意識も行き届いており、警備、清掃員までも情報を共有し、点検・目配りを促す体制を提案されている。

以上の内容から、指定候補者として選定する旨の答申が提出されました。

上記、選定委員会の答申に基づき、同年8月15日に指定候補者を選定しました。

(5) 指定候補者選定の経過

令和6年（2024年）4月9日

枚方市総合文化芸術センター指定管理者選定委員会への諮問

第1回指定管理者選定委員会開催

管理運営状況、募集要項、基本仕様書の確認、

指定管理者選定基準及び

プレゼンテーション実施方法について審議

令和6年（2024年）7月11日

第2回指定管理者選定委員会開催

申請状況等の報告

事業計画書の提案内容についてのプレゼンテーション実施

指定候補者についての審議

枚方市総合文化芸術センター指定管理者選定委員会からの答申

令和6年（2024年）8月15日

指定候補者の選定

3. 実施時期等

令和6年（2024年）9月

定例月議会へ枚方市総合文化芸術センター指定管理者の指定議案提出

令和7年（2025年）4月

次期指定管理者による管理運営の開始

4. 総合計画等における根拠・位置付け

- ①総合計画 ① 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち
- ② 基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
施策目標18 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
- ③ 計画の推進に向けた基盤づくり
計画推進3 持続可能な行財政運営を進めます



5. 関係法令・条例等

地方自治法（第244条の2）

枚方市公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例

枚方市総合文化芸術センター条例

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 3,549,981千円

支出内訳 指定管理料の額 3,549,981千円（5年間合計額）

※9月定例会で補正予算（債務負担行為）を提出する予定です。

年 度	提案指定管理料の額
令和7年度（2025年度）	680,132千円
令和8年度（2026年度）	705,876千円
令和9年度（2027年度）	706,613千円
令和10年度（2028年度）	721,415千円
令和11年度（2029年度）	735,945千円

《財 源》その他（手数料、使用料等）：680,345千円

一般財源：2,869,636千円

7. 枚方市総合文化芸術センター指定管理者選定委員会の構成

(委員名は五十音順)

	氏名(所属)	選出区分
会長	明石成司(弁護士)	学識経験のある者
副会長	中川恵子(税理士)	
委員	中井由貴子(枚方演奏家協会 会長)	専門的知識を有する者
委員	林伸光 (兵庫県立芸術文化センター 総括アドバイザー)	
委員	藤野一夫 (兵庫県立芸術文化観光専門職大学 副学長)	

8. 参考資料

参考資料① 評価結果【枚方市総合文化芸術センター】

参考資料② 市の確認事項に対する提案内容(概要)

◆評価結果【枚方市総合文化芸術センター】

参考資料①

事業計画に関する内容審査 配点80点

要求事項		配点	申請団体1 アートシティひらかた 共同事業体
			得点
1. 申請団体の経営方針等に関する事項		9	7.90
①団体の経営方針	1. 設立目的、経営実績、組織の状況及び運営方針の具体的な説明がなされている 2. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律に規定される休業・休暇制度が確保されている 3. 労働安全衛生法に基づき定期健康診断を実施するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進する取組が実施されている 4. 障害者雇用促進法に基づき障害者の雇用義務がある事業主にあつては、法定雇用率が達成されている(申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ、雇用率が達成できるよう提案されている) 5. 高年齢者雇用安定法に基づき、65歳までの定年引上げや継続雇用など、高年齢者雇用確保措置を講じている 6. 公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推進員」を設置している 7. ハラスメントの相談窓口が設置されている。また、ハラスメントを防止するための対策が講じられている	5	4.50
②指定管理者の指定を申請した理由	8. 申請した理由が、団体経営方針との関係を踏まえ明確に示されている	2	1.60
③経営の継続性・安定性	9. 国税、市税(市内に事業所を有する者)に係る徴収金を完納している 10. 財務状況の健全性、運営体制、同種施設の運営実績等から、施設の安定的な管理運営を期することができる	2	1.80
2. 施設の経営方針に関する事項		53	44.90
①施設の現状に対する考え方及び将来展望	11. 施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が提案されている	2	1.60
②施設運営に関する計画		51	
(ア)施設運営全般に関する提案	12. 提案上限額を下回り、かつ、適正な指定管理料が提案されている 13. 関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている 14. 利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている 15. 利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されている 16. 業務に従事する者の教育研修方針が提案されている 17. 業務に従事する者が、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修(ハラスメント研修を含む)について、提案されている	4	3.20
	18. 利用者の開拓や訴求力の高い宣伝活動などについて、SNS等を活用するなど、多角的で効果的な方策により戦略的な広報を展開する提案となっている 19. センター会員制度について、魅力的な提案となっている 20. チケット販売業務について、WEB販売や窓口販売等において、サービス向上に関する提案がなされている	6	5.40
	21. カフェ等運営業務について、営業時間を含め魅力的かつ持続可能な内容で、施設や地域の賑わいに寄与する提案となっている	2	1.30

要求事項		配点	申請団体1 アートシティひらかた 共同事業体
			得点
(イ) 文化芸術事業全般に対する考え方	22.「枚方市文化芸術振興計画(改訂版)」の内容を理解したうえで、事業の考え方が提案されている 23. 本市の文化芸術の裾野を広げる観点、また、市駅周辺の賑わい創出や活性化の観点を的確に理解した考え方が提案されている 24. 自主事業、指定事業として毎年度、合計85事業以上を提案している	6	5.40
	25. 文化芸術事業の専門知識や経験等が豊富な人材を、自主事業・指定事業を円滑に実施するに見合った人員が適正に配置されている	4	3.20
(ウ) 自主事業に対する考え方	26. 入場料の価格設定について、市民が鑑賞しやすく、かつ満席を目指すための明確なビジョンが示されたうえで提案されている	4	3.60
	27. 枚方市の魅力や交流人口の増加、賑わいの創出に資することができる国内外の著名なアーティストを招聘した目玉公演の企画・実施について、明確なビジョンが示されている 28. 幅広い分野で質の高い鑑賞事業を実施することに対して明確な考え方が示されている 29. 市独自の良質な音楽事業や舞台芸術作品の制作についてのアイデアが提案されている	7	6.30
	30. 若手アーティストの育成や次世代育成事業に対して明確な方向性が示されている 31. 社会包摂事業について、障害・年齢・家庭の状況などの理由により一定の配慮が必要な方が参加しやすい事業展開の考え方が示されている 32. 諸室(別館施設を含む)や広場を活用した、広がりのある事業展開についての考え方が提案されている	5	4.50
	(エ) 指定事業に対する考え方	33. 市内の文化芸術関係団体と良好な関係で事業を実施できる環境が整っている 34. 市民の文化芸術活動の発表の場としての役割を理解している	4
(オ) 施設の貸出等に関する業務の提案	35. 施設稼働率の目標水準が達成されるような提案がされている 36. 利用者に対する接遇対応向上について提案されている 37. セルフモニタリング及び利用者等に対するアンケートの実施について提案されている	4	3.20
	38. 施設の貸出に関する業務を適正かつ効率的・効果的に遂行できる人員が適正に配置されている 39. 施設を利用して文化芸術活動を行うための専門的な相談(舞台・広報等)を受け、適切に助言するための体制が提案されている	5	4.00
3. 施設の管理に関する事項		10	9.80
①施設管理全般に関する提案	40. 関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている 41. 施設の管理に関する業務を適正かつ効率的・効果的に遂行できる人員が適正に配置されている 42. 建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている 43. 備品管理に当たり、管理簿の整備及び責任所在について提案されている	8	8.00
	②環境への配慮に関する提案	44. 施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされている 45. 環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、節電・省エネルギー等の取組が提案されている	2
4. 情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項		2	1.80
	46. 枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている 47. 個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている	2	1.80
5. 緊急時における対策に関する事項		3	2.70
	48. 緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている 49. 緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている 50. 構成員間(本支社間含む)、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている	3	2.70

要求事項	配点	申請団体1 アートシティひらかた 共同事業体
		得点
6. その他	3	2.70
51. 利用者サービスを維持・向上させる具体的な取組について提案されている 52. 地域や事業者等と連携し、センターやまちの魅力向上への寄与についての考え方が示されている 53. 市が実施する事業に対する協力やコミュニケーションを活発にする連絡体制等、市と積極的に連携・協力する姿勢が見受けられる	3	2.70
得点合計(A) (80点満点)	80	69.80

指定管理料の額 配点20点

項 目	申請団体1 アートシティひらかた 共同事業体
提案された指定管理料(単位:円)	3,549,981,000
指定管理料の得点(B) (20点満点) 【配点(20点)×〔基礎係数0.5+加算係数{0.5×(上限額-提案額)÷(上限額-調査基準価格)}〕】	10.44

○総合評価点

項 目	申請団体1 アートシティひらかた 共同事業体
総合評価点(A+B)	80.24
順位	1

○評価内容

<p>＜申請団体1＞ アートシティひらかた共同事業体 共同事業体を構成する3社は、他施設での豊富な実績・経験を有し、信頼性の高い、優れた専門家集団を形成しており、財務状況からも堅実で安定した経営が見てとれる。申請団体は現行の指定管理期間(第1期)でも本施設の指定管理を行っているが、民間事業者が指定管理を行う基礎自治体が設置している大型文化施設の中では、本施設は公演(事業)の質と多様性は全国的に見てトップレベルの評価を得ている。</p> <p>本提案における事業企画については、幅広い顧客層を対象にできる出演者等の選定や枚方の市場に適合した入場料価格の設定を行うなど、顧客の拡大に貢献できる提案をはじめ、次世代を担う若者たちの育成に関する企画や市内の活動団体とともに相互の展開につながる事業も計画されている。また、指定管理期間の5年の提案にとどまらず、文化芸術について将来的な育成サイクルを構築し、枚方で永続的に発展継承されていく土台づくりを目指している点も評価できる。</p> <p>施設管理については、本施設においてすでに約4年間の管理運営実績があることから、施設の特徴等を熟知し、知識・経験を積み上げており一定の信頼性が認められる。危機管理の意識も行き届いており、警備、清掃員までも情報を共有し、点検・目配りを促す体制を提案されている。</p> <p>以上の内容も含め、申請団体は指定候補者として適当であると判断する。</p> <p>なお、公演事業についてはバランスの取れた多彩な展開で、市民にとって「行ってみたい公演がいつも複数ある」センターを目指すとともに、第1期で実績を積んだ「賑わいの創出」をさらに拡大し、枚方市駅周辺エリアと連携した具体的な取り組みを進め、回遊性が促進されるよう期待する。また、次期指定管理期間(第2期)においては「賑わい」から「交流」への深化に向けて、中長期的なアウトカム指標となる定性評価の手法を検討されたい。</p>
--

市の確認事項に対する提案内容（概要） 申請団体① アートシティひらかた共同事業体

参考資料②

要求事項	確認事項	提案内容
1. 申請団体の経営方針等に関する事項		
① 団体の経営方針	<p>1. 設立目的、経営実績、組織の状況及び運営方針の具体的な説明がなされているか</p> <p>2. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律に規定される休業・休暇制度が確保されているか</p> <p>3. 労働安全衛生法に基づき定期健康診断を実施するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進する取組が実施されているか</p> <p>4. 障害者雇用促進法に基づき障害者の雇用義務がある事業主にあつては、法定雇用率が達成されている(申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ、雇用率が達成できるよう提案されている)か</p> <p>5. 高年齢者雇用安定法に基づき、65歳までの定年引上げや継続雇用など、高年齢者雇用確保措置を講じているか</p> <p>6. 公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推進員」を設置しているか</p> <p>7. ハラスメントの相談窓口が設置されている。また、ハラスメントを防止するための対策が講じられているか</p>	<p>申請団体「アートシティひらかた共同事業体」を構成する3社は、下記のとおりです。</p> <p>●代表企業 サントリーパブリシティサービス株式会社</p> <p>1). サントリーグループ及び公共・民間施設の管理運営を手掛けています。</p> <p>2). 法定基準に加え独自の規程を整え育児休業取得率84.5%を達成しています。</p> <p>3). 法定基準の定期健康診断、ストレスチェック、休暇・自己啓発制度を整備しています。</p> <p>4). 障がい者雇用の安定促進により法定雇用率は2.57%を達成しています。</p> <p>5). 65歳以上の雇用制度を整え、キャリアを踏まえて配置しています。</p> <p>6). 公正採用選考人権啓発推進員を配置しています。</p> <p>7). ハラスメント対策として、相談窓口を明示し、eラーニング等で啓発しています。</p> <p>◇サントリーグループでは、次世代育成の見地に立った活動を推進しています。</p> <p>●構成企業 京阪ビルテクノサービス株式会社</p> <p>1). 枚方市に本社を置く、市内の建物を熟知した安心安全のエキスパートです。</p> <p>2). 法定基準に加え独自の規程を整え育児休業取得率62%を達成しています。</p> <p>3). 法定基準の定期健康診断に加え、ストレスチェックを実施しています。</p> <p>4). 障がい者も積極的に雇用し、法定雇用率は2.55%を達成しています。</p> <p>5). 65歳までの雇用制度を設け、「定年退職者再雇用規程」を整備しています。</p> <p>6). 公正採用選考人権啓発推進員を配置しています。</p> <p>7). ハラスメント防止を想定した規程と相談窓口を整備しています。</p> <p>◇自然環境にやさしい企業運営を目指し、地域貢献活動を行なっています。</p> <p>●構成企業 株式会社大阪共立</p> <p>1). 照明、音響、映像、美術の総合商社です。</p> <p>2). 育児休業制度の整備により育児休業取得率50%を達成しています。</p> <p>3). 法定基準の定期健康診断、婦人科健診や胃部健診の全額負担をしています。</p> <p>4). 障がい者が働ける環境を整え、法定雇用率は3.33%を達成しています。</p> <p>5). 65歳までの雇用を推進し、適性に応じて最長70歳まで活躍できます。</p> <p>6). 公正採用選考人権啓発推進員を配置しています。</p> <p>7). ハラスメント苦情受付窓口やコンプライアンス委員会を設置しています。</p> <p>◇地域周辺清掃等の地球環境保全等の社会貢献活動を行っています。</p>

要求事項	確認事項	提案内容
② 指定管理者の指定を申請した理由	8. 申請した理由が、団体経営方針との関係を踏まえ明確に示されているか	<p>8.3 社の強みを掛け合わせて「選ばれるまち」を目指します。</p> <p>文化芸術振興計画には「誰もが文化芸術に親しみ、学び、感動できるまち」を実現すると掲げています。「文化芸術の力」をもって「選ばれるまち」への進化を目指している市の想いに共感し、市民に寄り添い文化活動を後押ししたいと考えました。</p> <p>私たちは、各分野におけるリーディングカンパニーであり、3社は確固たるパートナーシップも構築しています。各社の強みと第1期での経験をいかし、「文化芸術の力で選ばれるまち」を実現し、市の発展に寄与したいとの想いから次期指定管理者に応募します。</p> <p>SPSの運営方針は「人と企業、人と文化、人と地域をつなぎ、その新たな価値を創造する」であり、設置目的である「人々の交流の促進、都市の魅力向上に寄与する拠点」を目指し、心躍る体験や深い学びの場を提供する役割を担えると考えます。</p> <p>KBTは、京阪グループの主軸戦略に「枚方市を中心に、ライフスタイルの変化に応じた拠点開発」があり、これまで以上に市への地域貢献が体現できると考えます。</p> <p>大阪共立は、舞台の演出方法の単なる提案だけでなく、利用者に十分に寄り添うことで信頼関係を構築してきました。引き続き利用者との空間芸術を創り上げ、市民の文化活動を支援できると考えます。</p> <p>私たちが第2期に取り組むべき課題を5つ掲げました。この課題を文化芸術の力で解決することを約束します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少子化・人口減少(子育て・教育施策の充実) ● 高齢化(介護・福祉施策) ● 枚方市駅周辺再整備 ● 大阪・関西万博(ひらかた万博) ● 災害に強いまちづくり

要求事項	確認事項	提案内容																
<p>③ 経営の継続性・安定性</p>	<p>9. 国税、市税(市内に事業所を有する者)に係る徴収金を完納しているか</p> <p>10. 財務状況の健全性、運営体制、同種施設の運営実績等から、施設の安定的な管理運営を期することができるか</p>	<p>9. 共同事業体を構成する3社は、いずれも公正妥当な会計処理により遅滞なく国税・市税を納付しています。</p> <p>10. 施設の安定的な管理運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務状況の健全性 <table border="1" data-bbox="1012 464 2040 616"> <thead> <tr> <th></th> <th>流動比率</th> <th>当座比率</th> <th>決算期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SPS</td> <td>146.0%</td> <td>119.3%</td> <td>令和5年12月期</td> </tr> <tr> <td>KBT</td> <td>343.7%</td> <td>333.6%</td> <td>令和5年3月期</td> </tr> <tr> <td>大阪共立</td> <td>170.9%</td> <td>168.5%</td> <td>令和5年12月期</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・同種施設の運営実績 <p>類似施設の運営実績は、SPSは46施設、KBTは44施設、大阪共立は20施設と経験が豊富です。それぞれ、指定管理や受託業務を担う施設同士が相互で連携する実績も多くあり、一つの施設だけでは解決が難しい課題も他施設の知見を活かして解消できるノウハウが蓄積されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全館の円滑な運営と市民との共創を図る組織体制です。 <p>私たちは、第1期より枚方市総合文化芸術センター(以下、「センター」という)において多彩な文化芸術鑑賞を実施し、市民の文化活動を支えてきました。センターの設置目的を達成し、より市民の文化活動を支え、振興するために、第1期の経験をもとに適正な要員を配置します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 館長並びに副館長が中心となり共同事業体を一体的に管理・運営し、企画制作グループと施設利用グループ、広報・営業・経理グループの3部門を統括します。舞台技術、設備管理、清掃の各グループに責任者を配置します。 2). 構成各社が専門分野において経験豊かな人材を配置し、あらゆる利用者の期待に応えるサービスを提供できる体制を整えています。 3). 運営組織は第1期の経験を踏まえ、また、本社等の支援もある体制で運営します。 4). 第1期で培ったJV間の強い連携体制で、より良い運営を行います。 企画制作・施設利用・舞台技術・設備等のあらゆる専門スタッフの視点、意見、気づきを共有しながら、迅速な改善及び中長期的な視点をもち運営にあたります。 5). JVのチームワーク醸成を図る研修等を実施します。各社で実施する研修だけでなく、センターに集うスタッフが集まり、お互いの仕事を理解しあうワークショップや、チームワーク醸成につながる施策を検討、実施します。 		流動比率	当座比率	決算期	SPS	146.0%	119.3%	令和5年12月期	KBT	343.7%	333.6%	令和5年3月期	大阪共立	170.9%	168.5%	令和5年12月期
	流動比率	当座比率	決算期															
SPS	146.0%	119.3%	令和5年12月期															
KBT	343.7%	333.6%	令和5年3月期															
大阪共立	170.9%	168.5%	令和5年12月期															

要求事項	確認事項	提案内容
2. 施設の経営方針に関する事項		
① 施設の現状に対する考え方及び将来展望	11. 施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が提案されているか	<p>11.～「賑わい創出」から出会い、つながる「交流促進」へ～</p> <p>第1期は、「センターを認知してもらおう」「事業による文化芸術振興」に注力し、まちの魅力向上を目指しました。来館者目標 33 万人に対し 40 万人超となり賑わいの創出は達成できました。また、文化芸術事業、貸館事業も高い満足度を得ることができました。</p> <p>しかし、外部調査では市民の 67%が「行ったことがない」と回答し、現役・子育て世代の来館が不十分で利用年代に偏りがあることもわかりました。</p> <p>文化芸術振興計画には「子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実」と掲げられており、全市民のセンターであるためにも、次期はこの世代に向けての施策を講じます。多様な市民がセンターに集い「賑わう場」から「交流する場」へ進化し、そこに集う子ども・若者が将来また来館するという循環が生まれ、枚方市が「選ばれるまち」になるよう経営方針と活動指針を掲げます。</p> <p>■経営方針 ～「賑わい創出」から出会い、つながる「交流促進」へ～</p> <p>活動指針① 市民と共に 「交流が生まれる場」をつくります</p> <p>活動指針② 地域と共に 枚方市駅周辺再整備と連動し、さらなる賑わいを創出します</p> <p>活動指針③ 芸術家と共に 文化芸術分野における市民と芸術家との接点を拡大します</p> <p>また、4つの目標を設け、積極的に活動を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標1 文化芸術事業のさらなる充実により、より多くの市民に文化芸術との接点を提供します ●目標2 施設の運営品質のさらなる向上で、利用者の満足度を向上させ、地域の賑わいを促進します ●目標3 施設や地域の魅力発信を目的とした広報力強化により、枚方市のブランド力向上を目指します ●目標4 効率的、効果的な施設維持管理の徹底により、利用者満足度 UP とコスト DOWN を両立させます

要求事項	確認事項	提案内容
②施設運営に関する計画		
(ア) 施設運営全般に関する提案	<p>12. 提案上限額を下回り、かつ、適正な指定管理料が提案されているか</p> <p>13. 関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されているか</p> <p>14. 利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されているか</p> <p>15. 利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されているか</p> <p>16. 業務に従事する者の教育研修方針が提案されているか</p> <p>17. 業務に従事する者が、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修(ハラスメント研修を含む)について、提案されているか</p> <p>18. 利用者の開拓や訴求力の高い宣伝活動などについて、SNS 等を活用するなど、多角的で効果的な方策により戦略的な広報を展開する提案となっているか</p> <p>19. センター会員制度について、魅力的な提案となっているか</p> <p>20. チケット販売業務について、WEB 販売や窓口販売等において、サービス向上に関する提案がなされているか</p> <p>21. カフェ等運営業務について、営業時間を含め魅力的かつ持続可能な内容で、施設や地域の賑わいに寄与する提案となっているか</p>	<p>12. 第 1 期の実績と新たな取り組みを加味し、指定管理料を提案します。 【収入】 チケット販売や事業収支計画の立案による売上確保、助成金獲得で安定経営を目指します。 【支出】 2 館運営の業務工数を反映した人件費、広報活動強化費用、サービス品質を維持しながらの経費減も加味し、算出しました。</p> <p>13. 施設の設置目的に沿った運営計画は P21-22 に記載したとおりです。また、労働関係、施設管理関係法令はそれぞれ P24、P50 に記載のとおり遵守します。</p> <p>14. トラブルは、対応フローに基づき一次対応をし、困難な場合は館長へ報告し適正な対応をします。また、未然防止のためのルール周知等の取り組みも講じます。</p> <p>15. 利用前打ち合わせでの安全に配慮したアドバイス、ルール周知等を実施します。</p> <p>16. 必要なスキルやマインドを習得し、利用者に寄り添う柔軟で高品質なサービス提供を目指します。また、市へのロイヤリティが高い地元人材を積極的に採用します。</p> <p>17. P25 に記載の通り、全スタッフを対象に人権研修を実施します。</p> <p>18. 新たなターゲットとして、子どもや子育て世代、若者を掲げ、センターの特徴でもある事業企画の魅力を発信します。データ分析によるターゲットに合わせた戦略的な広報を展開します。</p> <p>19. 「CLUB H-Arts」の会員は約 2 万人となりました。次期は会員属性等をデータ分析し購入に繋がるデータマーケティングに取り組みます。また、会員限定イベント等も企画しセンターのファンになり、より足を運んでもらうための施策も講じます。</p> <p>20. お客様の環境や状況に合わせてチケットの購入方法を選ぶことができるよう「窓口・電話・Web」の 3 チャンネルを継続展開し、利便性を維持します。窓口や電話対応は、お客様に寄り添った対応を実施します。</p> <p>21. カフェは、営業時間の柔軟な対応、季節メニューでのサービス向上、また、芝生広場の一体利用等、憩いの時間を過ごす場づくりを目指します。</p>

要求事項	確認事項	提案内容
<p>(イ) 文化芸術事業全般に対する考え方</p>	<p>22.「枚方市文化芸術振興計画(改訂版)」の内容を理解したうえで、事業の考え方が提案されているか</p>	<p>22.「枚方市文化芸術振興計画」の理念の実現のためには「市民」「地域」「芸術家」が未来のありたい姿を描き、行動するかが重要であると考えます。第1期に「常に賑わいを創出し、枚方市の文化芸術ブランドを構築」することができました。</p> <p style="text-align: right;"> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な鑑賞機会の提供 ・圧倒的な市民との接点創出 ・券売に特化したマーケティング </p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第1期に賑わいを創出した3つの要素</p> <p>「枚方市の文化芸術発信基地として着実に成長」を遂げているセンターがより発展していくためには、中期的な視点を持ち、第2期につながる課題は何か、その上で第2期に何をなすべきかを考える必要があります。中期計画として「文化芸術の育成サイクルを実現」させるために第2期では、基本方針と戦略を下記の通り掲げ活動を推進します。</p> <p style="text-align: right;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞機会の接点拡大 ・市民との交流の深化 ・経営マネジメント体制の強化 </p> <p style="text-align: center;">■基本方針</p> <p style="text-align: center;">～「鑑賞事業」と「市民参加型事業」の両輪で、交流と生む文化芸術を～</p> <p style="text-align: center;">ひとをつなぐ 市民のつながりを醸成し、それぞれの文化活動を「点」から「線」へ</p> <p style="text-align: center;">地域をつなぐ 文化活動の相互交流を促し、「線」から「面」へ</p> <p style="text-align: center;">文化をつなぐ 醸成された「枚方文化」を次なるフェーズへ</p> <p>戦略1)あらゆる世代に、賑わいと交流を生む魅力的な文化芸術事業の企画運営 戦略2)枚方市の文化芸術をけん引する市民協働・市民共創の積極的な機会創出 戦略3)子どもたちの夢の実現に寄与する若手支援・次世代の育成サイクルの構築 戦略4)文化芸術事業(85事業)を円滑に運営する経営マネジメント 戦略5)ひと・地域・文化芸術をつなぐ最適な人材配置と育成体制の進化</p>

要求事項	確認事項	提案内容
	<p>23. 本市の文化芸術の裾野を広げる観点、また、市駅周辺の賑わい創出や活性化の観点を的確に理解した考え方が提案されているか</p> <p>24. 自主事業、指定事業として毎年度、合計 85 事業以上を提案しているか</p> <p>25. 文化芸術事業の専門知識や経験等が豊富な人材を、自主事業・指定事業を円滑に実施するに見合った人員で適正に配置されているか</p>	<p>23.戦略 1～3 を軸に事業展開を実施します。</p> <p>1).あらゆる世代に、賑わいと交流を生む魅力的な文化芸術事業の企画運営 企画ごとのターゲット設定を強化し、足を運びたくなる事業展開に発展させるだけでなく、市民活動や市民参加事業を通して接点の拡大を継続実施します。また、市民とともに推進した信頼関係の強化し、文化芸術を育てます。</p> <p>2).枚方市の文化をけん引する市民協働・市民共創の積極的な機会創出 市民同士の交流(コラボレーション)企画を展開し、参画の機会と共に創る過程を通して、次のステージに押し上げます。</p> <p>3).子どもたちの夢の実現に寄与する育成サイクルの構築 「市民」「地域」「芸術家」の連携だけにとどまらず、育っていく仕組み作りが必要です。育成サイクルを将来に向けて構築し、子供たちの機会の充実や世代間交流、さらには文化芸術の継承風土を生み、住みたい街、住み続けたい街になるよう発展させます。</p> <p>24. 戦略 4 を軸に展開します。 85 事業を「収益を上げる事業」と「育成を主眼に投資をする事業」の 2 つのカテゴリに明確に分類し、戦略的にプログラミングをします。鑑賞事業での指定管理料充当率を 55%目標にするだけでなく、全 85 事業を通して、50%維持を目標に組み立てます。「賑わい」で創出した収益を「交流促進」で市民・芸術家・地域に還元する考えの元、事業全体を構築します。</p> <p>25. 戦略 5 を軸に展開します。 自治体、企画制作担当者、聴衆をつなぐ重要な役割として、企画制作チームには「判断力」「牽引力」「交渉力」「育成力」を備えた人材を配置します。また、サブチームを配置し、チームの支援だけでなく、担当者の育成をチームとチームで行い組織力を高めます。SPSの本社の事業支援チームがセンターの事業戦略を構築する強力なパートナーの役割を担い、事業実施と育成を支援します。また、知識・経験のない事業は外部の専門人材を活用します。確かな運営を行っていくためには枚方市・センター・SPS本社の三位一体の「枚方モデル」を継続し、関係をさらに強化します。</p>

要求事項	確認事項	提案内容
(ウ) 自主事業に対する考え方	26. 入場料の価格設定について、市民が鑑賞しやすく、かつ満席を目指すための明確なビジョンが示されたうえで提案されているか	26.第 1 期に実施した市場価格よりも安価に設定しましたが、第 2 期では各企画の適正価格と収支のバランスを考えながら、完売するための価格設定を分析し入場料金を決定します。鑑賞事業内で「収益を上げる事業」と「育成や普及を主眼とする事業」を明確に分類し、収支バランスを図りながら完売の仕組みを構築します。
	27. 枚方市の魅力や交流人口の増加、賑わいの創出に資することができる国内外の著名なアーティストを招聘した目玉公演の企画・実施について、明確なビジョンが示されているか	27.「枚方市の文化芸術事業を象徴し、魅力あふれる事業の実現」を行動方針に掲げ、センターで開催されることで枚方市の誇りを持つことができ、かつ、市内外の認知度向上を目的に下記のジャンルを中心にバランスを考え実施します。 <クラシック> センターでしか実現しない、アーティストの共演等 <オペラ・演劇・ミュージカル>国内有数の劇場制作の公演や共同制作オペラ等 <POPS>人気と実力を備えたトップ・アーティストの公演
	28. 幅広い分野で質の高い鑑賞事業を実施することに対して明確な考え方が示されているか	28.「多様で上質な事業を展開し、賑わいを強化」を行動方針に、第 1 期の実績をもとに分析しバランスよく実施します。また子ども、若年層の支援や育成の視点をプラスして実施します。 <音楽:クラシック 13 事業> <音楽:POPS 4 事業> <音楽:ジャズ・その他 3 事業> <舞踊・演劇・ミュージカル 4 事業> <伝統芸能 5 事業> <デジタル技術活用事業 1 事業>
	29. 市独自の良質な音楽事業や舞台芸術作品の制作についてのアイデアが提案されているか	29.「プロと市民の協働による枚方オリジナル事業で交流を促進」を行動方針にプロと市民が共に1つの作品を作り上げるプロセスを大事に「世代間交流」を促進します。 <枚方シティオペラ> 市民による活発な活動を継続 <枚方市民とともに創る創作劇> プロと市民とでオリジナル演劇作品を制作
	30. 若手アーティストの育成や次世代育成事業に対して明確な方向性が示されているか	30.第 1 期に「アーツプラウト事業」等で若手アーティストを支援する活動を実施してきましたが、「枚方市の文化芸術の担い手の支援と育成を通して、育成サイクルの土台づくりを実施」を行動指針に、市民との接点を拡充した事業展開をはかり、各世代ごとに様々なアプローチで文化芸術の育成サイクル構築に取り組みます。

要求事項	確認事項	提案内容
	<p>31. 社会包摂事業について、障害・年齢・家庭の状況などの理由により一定の配慮が必要な方が参加しやすい事業展開の考え方が示されているか</p> <p>32. 諸室(別館施設を含む)や広場を活用した、広がりのある事業展開についての考え方が提案されているか</p>	<p>＜アート・スプラウト・リレーコンサート＞ 登録アーティストの機会創出 ＜子どもアートマネジメント講座＞子供たちの職業の選択肢を広げる講座 アーティストバンクとの協働企画も実施 ＜創作こども劇場＞市内劇団と子どもたちとのコラボ演劇企画を実施 ＜ひらかた文化人材育成プログラム＞インターンを通して有能人材を発掘 ＜マスタークラス、クリニック＞鑑賞事業と連動した人材育成企画</p> <p>31. 「誰も取り残さない、あらゆる市民がつながる事業の推進」を行動指針に、障がい者だけでなく、国籍や境遇の異なる方にも範囲を広げ、機会の創出を図ります。 ＜バリアフリーコンサート＞共生社会をテーマに公演を実施 ＜留学生との協働プログラム＞関西外国語大学との連携でイベントを実施 ＜「ラポールひらかた」との協働＞鑑賞機会や公演スタッフの機会の提供を実施 ＜朝活・夜活シリーズ＞新たな来館層獲得と芝生広場の活用を兼ねた企画</p> <p>32. 「賑わい強化と交流を生み出す新しい保育室や芝生広場の活用を促進」を行動指針に、新たににぎわいを生む諸室の活用を実施。 ＜保育室「絵本読み聞かせイベント」＞図書館と連携した保育室利用促進企画 ＜芝生広場でのイベント誘致＞センターの賑わいを演出する芝生広場を活用</p>
(エ) 指定事業に対する考え方	33. 市内の文化芸術関係団体と良好な関係で事業を実施できる環境が整っているか	33. 「文化芸術の育成サイクルの根幹をなす交流を促進」を基本方針に、第1期で、信頼関係を構築した実績をさらに強固にしながらも、交流促進とコラボレーションを実施することで、市民同士の活動の場を広げる機会を作ります。市民の文化芸術活動の自立を促す伴走型の運営を行います。市民とセンターのつながりを市民団体同士に広げ、「線」を「面」にしていくことで活発な交流を促し、育成サイクルを構築します。

要求事項	確認事項	提案内容
	34. 市民の文化芸術活動の発表の場としての役割を理解しているか	<p>34.指定事業の特徴的事業をあげ、より発展した場となるよう課題を抽出し、改善点案を通して市民の文化芸術活動がより活発に実施されるよう支援をします。</p> <p><ミュージック・シェアリング・フェスティバル> ミュージック・シェアリング、学校、センターとの連携強化</p> <p><市民総合文化祭> コラボレーション企画の実施</p> <p><枚方市展> 15歳以下の部の創設</p> <p><枚方市の美術家展・アートスプラウトシリーズ ビジュアルアーツ> 自主事業との連動企画の実施</p>
(オ) 施設の貸出等に関する業務の提案	<p>35. 施設稼働率の目標水準が達成されるような提案がされているか</p> <p>36. 利用者に対する接遇対応向上について提案されているか</p> <p>37. セルフモニタリング及び利用者等に対するアンケートの実施について提案されているか</p>	<p>35.利用者の利便性向上に努め、リピーターを維持するとともに、下記施策を講じ、特に平日と別館の利用促進に力を注ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SPS の運営する全国貸館施設との連携による利用促進活動の推進 ・大手プロモーターによる興行及び各種学会等の誘致 ・別館施設の営業強化による利用促進 ・バックステージツアーの定期開催 ・利用者相談窓口の拡充 <p>36.利用者が快適に施設を利用できるように、接遇力の向上に継続的に取り組みます。全スタッフが下記研修に取り組み、豊富な知識と提案スキルに磨きをかけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービススキル・スマインド研修 ・チームビルディングワークショップ ・貸出ルール勉強会 ・コミュニケーション力向上研修 <p>37. セルフモニタリングは下記手法により実施し、スタッフ全員で共有、改善できているかをPDCAによって管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者アンケート(利用ごと) ・主催公演来場者アンケート(事業ごと) ・本社コンプライアンス部門による業務品質チェック ・定期的な市民アンケート(市場調査)

要求事項	確認事項	提案内容
	<p>38. 施設の貸出に関する業務を適正かつ効率的・効果的に遂行できる人員が適正に配置されているか</p> <p>39. 施設を利用して文化芸術活動を行うための専門的な相談(舞台・広報等)を受け、適切に助言するための体制が提案されているか</p>	<p>38.施設利用受付、問い合わせ対応等、十分な知識とスキルを兼ね備え、施設の特性を熟知した人材を適正に配置します。</p> <p>【窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任者を常時1名以上・本館受付に3名、別館受付に2名以上を配置 ・「施設利用サブチーフ」を常時1名以上配置 ・貸出業務をマルチタスクで対応し、施設利用担当者を効率的に配置することで、突発的な利用者の相談にも柔軟に対応します。 <p>39. 舞台打ち合わせ、利用当日のフォロー、下見対応等、十分な知識とスキルを兼ね備え、施設の特性を熟知した人材を配置します。</p> <p>【舞台】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台技術担当チーフや各ホールの舞台技術担当者は常勤スタッフを配置 ・舞台技術担当者には、センターの舞台を熟知し、豊富な技術・知識を有したスタッフを配置 ・舞台技術担当副チーフを配置し、チーフ不在時でも代行してチーフ業務が担える体制を整えます。
3. 施設の管理に関する事項		
① 施設管理全般に関する提案	40. 関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されているか	<p>40.関係法令及び枚方市条例、規則を遵守し、センターの設置目的に沿って、これまでの実績で集積した維持管理のデータ、知見を活用し。設備、備品の不具合発生を未然に防ぐ計画的な予防保全を主体として取り組みます。具体的には施設維持管理会議を実施、KBTが自主運営するITシステム等の活用により、人とデジタルによるLCC削減と快適な施設環境を実現します。</p> <p>なお、第2期はさらに建物管理クラウドシステムを導入し、点検結果をAI搭載アプリにより、適切に判断し、隠れた異常傾向を発見します。さらに、異常箇所の情報はリアルタイムで各責任者や担当者に共有し、最適な判断を迅速に下します。センターの近隣にKBTの事業所が複数あることも生かし、的確な指示に基づくスピード感のある対応を実現します。</p>

要求事項	確認事項	提案内容
	<p>41. 施設の管理に関する業務を適正かつ効率的・効果的に遂行できる人員が適正に配置されているか</p> <p>42. 建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されているか</p> <p>43. 備品管理に当たり、管理簿の整備及び責任所在について提案されているか</p>	<p>41.本館及び別館を一体管理することにより、人員配置を効率化します。具体的には警備、清掃要員を第1期で得た知見を基に、本館、別館の施設特性に合わせて最適な配置をします。また、近隣在住スタッフを主に配置することで、緊急時も迅速に対応できる体制を構築します。</p> <p>42.第1期での継続したモニタリングにより、設備、機構等を熟知しているため、適切なタイミングや回数で点検・保守を実施することにより、安全、快適な環境を維持します。舞台機構においても日常・定期保守点検を実施します。</p> <p>43.物品管理簿を備え、年1回の棚卸を実施します。各備品の責任の所在情報等の基本事項及び、種別番号や製造会社名、追加購入した場合は購入費等の情報を一元化し、修理や買い替えにも備えます。また、楽器等の維持管理は専門業者と連絡を取り合い、維持管理をします。</p>
<p>② 環境への配慮に関する提案</p>	<p>44. 施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされているか</p> <p>45. 環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、節電・省エネルギー等の取組が提案されているか</p>	<p>44.施設内で生じる廃棄物については、法令に基づき適切な取り扱いを徹底します。ゴミの分別をわかりやすく表記します。ゴミ減量を目的としたスタッフ向け研修や施設内に掲示するポスターの作成等で市民向けの啓発活動も計画します。</p> <p>産業廃棄物は管理者を定め、一時保管後、法令に基づき適切に処理します。また、再利用、再生利用に取り組み、再資源化処理が可能な処理業者を選定することで、リサイクルの促進に努めます。優良産業廃棄物認定業者「(株)コスミック」に委託し、地元企業の活用を推進します。</p> <p>45.地球環境問題に対応し、持続可能な発展を目指すため、施設運営に係るあらゆる環境への負荷を減らす努力を継続します。利用者への安心、安全性、快適性を保った上で、廃棄ゴミを最小限に抑えた運営を行います。</p> <p>また、ごみを可能な限り再利用し、適切な分類によるリサイクルを徹底することで、最適な省エネ、省資源を推進します。</p>

要求事項	確認事項	提案内容
4. 情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項	<p>46. 枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されているか</p> <p>47. 個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されているか</p>	<p>46. 市民等からの情報開示請求にあたっては「枚方市情報公開条例」に則り、適正に対応します。また、総合文化芸術センターの個人情報等の取り扱いに関して、プライバシーポリシーを策定し、情報開示を求められた場合は真摯な姿勢で対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の提供により公正で開かれた施設を目指します 公演情報、施設全体の理解につながる話題、日常的な運営内容を公開し、活動状況を正しくご理解いただけるよう情報を広く発信し続けます。 開示請求には適切に対応します 「枚方市情報公開条例」に基づき適切な手続きをご案内しつつ、明確な判断が行えない場合は、枚方市との協議をもって判断します。 開示請求等に応じる手続き方法を明確に表示します プライバシーポリシーの一項目として公式ホームページに手続き方法を明記し、「枚方市個人情報保護条例」「枚方市個人情報保護条例施行規則」に従い速やかに対応します。 <p>47. 私たちは、デジタル社会の形成促進の視点から、一元化された個人情報保護法の理念を理解し、センターで取り扱う個人情報及び個人データについて、法令遵守のもと適正かつ適切な管理を徹底しています。管理にあたっては、個人情報保護法第 23 条に則した 4 つの措置に照らして対応します。</p>
5. 緊急時における対策に関する事項	48. 緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されているか	<p>危機管理に関する基本的な考え方として、年間 40 万人以上の来館者が集う公共施設であることを理解したうえで、様々なリスクを想定し、防止策及び発生時の対応策検討や訓練に取り組み、有事の際に利用者の安全を確保します。</p> <p>また、別館は第一次避難場所に指定されていることを踏まえ、地域住民が「安心して暮らす」ための強靱な環境づくりの面でも、役割を理解し機能させていきます。</p> <p>48. 緊急時や防犯・防災の取り組みは下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの整備と周知 危機管理マニュアルを整備し、適宜改訂のうえ周知、徹底します。 設備監視体制の構築 設備不具合により発報が確認された場合は、常駐のメンテナンス担当者が対応します。対応が難しい場合は、KBT 近隣事業者から緊急駆け付けを行います。

要求事項	確認事項	提案内容
	<p>49. 緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されているか</p> <p>50. 構成員間(本支社間含む)、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危機に対する実践・知識を学ぶ講習会 防災訓練や心肺蘇生法講習会等、スタッフの防災教育を実施します。 <p>49.緊急時の体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態性フロー 明確な役割分担を明確にし、対応を迅速に行います。館長に情報を一元化し、必要な指示は各担当係へ直接連絡します。 ・緊急時体制の構築 市との事前協議、準備を行い緊急対応体制の基盤を構築します。予測可能な災害、予測できない緊急事態、大規模災害それぞれに対応できる体制を整備します。 <p>50.緊急時の枚方市とのリスク分担、共同事業体間のリスク分担、共同事業体内の連携と代表企業内の業務分担を明確にし、それぞれの責務を担います。また、想定されるリスクに対し、各種保険に加入します。</p>
6.その他	51. 利用者サービスを維持・向上させる具体的な取組について提案されているか	<p>51.センターを全ての市民に開かれた施設とするために、施設運営の様々な側面におけるバリアフリー化を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なプライオリティゲスト研修の実施 サービス介助士基礎講習、高齢者疑似体験研修、車いす利用者、聴覚・視覚障がい者対応等の研修を行い、スタッフのマインド醸成、対応力強化を行います。 ・360度ビューの導入 パソコンやスマートフォンを使って、センター館内(三次元バーチャル空間)を自由に歩き回ることができる360度ビューを導入します。館内にいる感覚を得られることに加え、採寸機能等もあります。来館が困難な方のオンライン見学、また、利用相談や下見も来館せずに行うことが可能です。 ・タブレット端末の活用 総合受付にタブレット端末の導入を行い、アプリケーションによる多言語対応や手話、筆談対応等を可能にします。

要求事項	確認事項	提案内容
	<p>52. 地域や事業者等と連携し、センターやまちの魅力向上への寄与についての考え方が示されているか</p> <p>53. 市が実施する事業に対する協力やコミュニケーションを活発にする連絡体制等、市と積極的に連携・協力する姿勢が見受けられるか</p>	<p>52. 枚方市駅周辺の再整備計画がさらに進み、若年層、ファミリー層を中心に市内外より多くの方が集まることが予測されます。一方、この層に対する利用を推進することに課題があると認識しています。</p> <p>第2期は、文化芸術をキーワードとした地域連携により、駅周辺エリア全体で誘客、回遊効果を生み出し、市の魅力向上に貢献します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺エリアと連携した回遊策のしかけの実施 センターを「ひらかたパーク」「くずはモール」と並ぶ市内屈指の誘客機能と位置づけ、市外からセンターに訪れた来場者をそのまま駅周辺エリアに回遊・滞留させる施策を講じることによって、施設単独では成し得ない大きな広がりをもって市の魅力を伝えます。 KBTは「枚方HUB協議会」にも参画しており、地元事業者と良好な関係性を築いています。地元の繋がりを生かし、連携活動を進めます。 ・芝生広場での日常的なにぎわいを生み出すイベントを実施します ラポール前広場との一体的なイベントの実施、芝生広場やカフェ機能等を一体的に活用する等、日常的なにぎわいを促進し、市民が「普段づかい」できるイメージを定着させ、センターへの愛着を醸成する取り組みを行います。 <p>53. 第2期においても、日々、枚方市と連携しつつ、定例会を通じて早期解決を図ると共に、中・長期的なプランの共有や軌道修正を行い、双方の意思疎通を図ります。特に長期修繕計画等においても協議をしながら進めます。また、協議事項は協議録を取り、滞りの無い施設運営に繋がります。</p> <p>枚方市が実施する事業や文化情報の発信内容とセンターの情報発信を連動させるため、所管課の各会議体及び地域連携の協議体等へ出席します。</p>